



榎橋会長



竹内社長

弘栄貿易の子会社である日本ジッパーチュービング（神戸市西区、竹内史郎社長）はEMI対策や電線・ケーブル結束、遮熱・断熱対策品など製造、モノづくりの現場をサポートしている。本社機能も有する神戸

工場ポ

日本ジッパーチュービング 神戸工場



ロボットの花火を溶接で溶かすことによる事故を防ぐ

グは1972年設立で、弘栄貿易と米ジッパーチュービング社との合併。設立当初は米国やドイツなどの技術導入もあり電線やケーブルなどを結束するためのチューブ（ジッパーチューブ）からスタートしたが、その

ユーザーの課題解決に貢献

工場は神戸市西区の大型工業団地、神戸テクノ・ロジスティックパークに立地する。50周年を迎えた昨年

は弘栄貿易と連携、ユーザーを集めよう。今後は日本ジッパーチュービング

の課題解決につながる製品づくりの拠点としても注目を集めよう。

後ノイズシールドや電磁波対策のシールドフォームのほか、遮熱製品まで手掛け、最近ではアルミフレーム用結

面積より2倍強拡張した。1階ではマシンやホック、ウェルダ、スリットなどの製造や装着工程のほか、工場内で使用する装置のメンテナンスや仕様変更などを行う作業室などを配置するほか、2階では遮熱製品、EMI対策などのシールド

ユーザーの製品開発の場になる予定だ。弘栄貿易は合成品を中心に自動車部材に強い会社であり、EV化のなか方向性を模索する部材メーカーとの協業を視野に同スペースを確保した。

EMI対策などのシールドフォームの製造装置が並び、スタッフが丁寧な手作業で製品を仕上げている。また化審法やTSCA、REACH、RoHSなどへの適合や品質保証のための試験機や蛍光X線分析装置、ガスクロマトグラフ、分光計など最新機器がそろ

部横断組織を開設しており、すでに各事業本部スタッフと日本ジッパーチュービングとの交流も始めている。今後、相互の知見や技術を生かすことで新たなアイデアが生まれると期待する。日本ジッパーチュービング会長を兼務する榎橋貴彦弘栄貿易社長は「まずはアイデアを集め、3年後には10個ほどに絞り込むとともに将来何ができるかを形にしたい」と期待する。竹

神戸工場は敷地面積が約1万6000平方メートルに延べ床面積約1万2000平方メートルの2階建てで、フロアは2工場だった移転前の合計

に合わせ、ユーザーニーズに合わせ物性試験や寸法測定、成分分析なども実施、モノづくりをサポートする。神戸工場は敷地面積が約1万6000平方メートルに延べ床面積約1万2000平方メートルの2階建てで、フロアは2工場だった移転前の合計

置しており、弘栄貿易とのコラボレーションによって

（野間勉）